

中国語・中国文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国語学中国文学特論Ⅰ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	前期 火曜日 4講時	
中国語学中国文学特論Ⅱ	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	後期 火曜日 4講時	
中国語学中国文学特論Ⅲ	中国中世における文学の質的 転換に関わる研究	2	柳川 順子	通年集中 その他 連講	
中国語学中国文学史総合演習Ⅰ	中国語学史中国文学史上の諸 問題	2	矢田 尚子・土屋 育子	前期 月曜日 4講時	
中国語学中国文学史総合演習Ⅱ	中国語学史中国文学史上の諸 問題	2	矢田 尚子	後期 月曜日 4講時	
中国語学中国文学研究演習Ⅰ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	前期 金曜日 2講時	
中国語学中国文学研究演習Ⅱ	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	後期 金曜日 2講時	
中国語学中国文学研究演習Ⅲ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	前期 水曜日 3講時	
中国語学中国文学研究演習Ⅳ	中国近世文学研究	2	土屋 育子	後期 水曜日 3講時	
中国語文化論研究演習Ⅰ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	前期 木曜日 2講時	
中国語文化論研究演習Ⅱ	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	後期 木曜日 2講時	

科目名：中国語学中国文学特論 I / Chinese Language and Literature (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM12405, 科目ナンバリング：LGH-LIT601J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相
2. Course Title (授業題目) : Various Aspects of Modern Mandarin Chinese
3. 授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。まず、現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえで、テーマ別の研究論文の精読を通して、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to enhance students' understanding of the linguistic characteristics of modern Mandarin Chinese. At first, students are required to read an overview of modern Mandarin Chinese, and then by reading research papers that deal with different aspects of modern Mandarin Chinese, students learn about the essential concepts and structures in this language as well as learn how to ask appropriate research questions and the possible ways of research in Chinese linguistics.
5. 学習の到達目標：①中国語の論文を正確に読み解く能力を身につける。
②中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : ①Students will be able to read research papers written in Chinese accurately.
②Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
＜授業内容・方法＞基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。
＜進度予定＞
第1回 ガイダンス
第2回 現代中国語の概説 (一)
第3回 現代中国語の概説 (二)
第4回 現代中国語の概説 (三)
第5回 現代中国語の概説 (四)
第6回 研究論文1 (一)
第7回 研究論文1 (二)
第8回 研究論文1 (三)
第9回 研究論文1 (四)
第10回 研究論文2 (一)
第11回 研究論文2 (二)
第12回 研究論文2 (三)
第13回 研究論文2 (四)
第14回 研究論文2 (五)
第15回 期末まとめ
8. 成績評価方法：
授業への取り組み：50%
課題：50%
9. 教科書および参考書：
＜教科書＞プリントを配布する。
＜参考書＞『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995 年
10. 授業時間外学習：予習：プリントの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。
復習：プリントや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 4講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM22406, 科目ナンバリング：LGH-LIT602J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2. Course Title (授業題目)：Various Aspects of Modern Mandarin Chinese

3. 授業の目的と概要：現代中国語の言語的特徴について、理解を深めることを目的とする。まず、現代中国語に関する概説を読み、その全体像をある程度把握したうえで、テーマ別の研究論文の精読を通して、中国語学における重要な概念や構文、さらに、問題意識の置き方や研究手法について学習する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to enhance students' understanding of the linguistic characteristics of modern Mandarin Chinese. At first, students are required to read an overview of modern Mandarin Chinese, and then by reading research papers that deal with different aspects of modern Mandarin Chinese, students learn about the essential concepts and structures in this language as well as learn how to ask appropriate research questions and the possible ways of research in Chinese linguistics.

5. 学習の到達目標：①中国語の論文を正確に読み解く能力を身につける。

②中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will be able to read research papers written in Chinese accurately.

②Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>基本的に講義形式で行うが、演習も取り入れる。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 研究論文3 (一)

第3回 研究論文3 (二)

第4回 研究論文3 (三)

第5回 研究論文3 (四)

第6回 研究論文4 (一)

第7回 研究論文4 (二)

第8回 研究論文4 (三)

第9回 研究論文4 (四)

第10回 研究論文5 (一)

第11回 研究論文5 (二)

第12回 研究論文5 (三)

第13回 研究論文5 (四)

第14回 研究論文5 (五)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

課題：50%

9. 教科書および参考書：

<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：プリントの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：プリントや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語学中国文学特論Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：通年集中 その他 連講

セメスター：集中 単位数：2

担当教員：柳川 順子

コード：LM98821, 科目ナンバリング：LGH-LIT603J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世における文学の質的転換に関わる研究
2. Course Title (授業題目) : Research on the Qualitative Transformation of Literature in Medieval China
3. 授業の目的と概要：三国魏の時代（西暦3世紀）は、歴史上、古代から中世への移行期に当たっているが、文学においても大きな質的変容が認められる。では、その変質とは具体的にどのようなものか。また、それは何に由来するものなのか。この時期を代表する文人、曹植の作品を精読しながら、この問題について検討したい。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : The Wei (魏) dynasty of the Three Kingdoms (3rd century A.D.) was a period of transition from ancient to medieval times in history, and literature underwent a major transformation during this period. What kind of change was this? And what were the causes? We would like to examine this question through a close reading of the works of Cao Zhi (曹植), a representative literary figure of this period.
5. 学習の到達目標：作者が生きた時代の言語感覚に基づいて、作品を適切に読解できること。その精読に基づいて、作品を解釈できること。この二つを到達目標とする。
6. Learning Goals (学修の到達目標) : To be able to perform a close reading of a work based on the linguistic sensibilities of the period in which the author lived. To be able to interpret a work based on such a close reading. These are the two goals of this class.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
 - I. 曹植文学と漢代宴席文芸
曹植の文学が、漢代宴席文芸の展開上に生まれたものであることを知る。
 - 1-1 曹植「七哀詩」(『文選』巻23)の精読
 - 1-2 漢代古詩の成立経緯
 - 2-1 曹植「箜篌引」(『文選』巻27)の精読
 - 2-2 漢代楽府詩の展開経緯
 - 3-1 曹植「三良詩」(『文選』巻21)の精読
 - 3-2 詠史詩の成立経緯
 - 4 曹植「鷓鴣賦」と漢代の通俗文芸
 - II. 曹植文学とその背景
曹植の文学は、彼の境遇を知ってこそ読解できるということを知る。
 - 1-1 曹植「雑詩六首」(『文選』巻29)の精読(1)
 - 1-2 曹植「雑詩六首」(『文選』巻29)の精読(2)
 - 2-1 曹植「贈丁廙」(『文選』巻24)の精読
 - 2-2 曹植「贈丁儀」(『文選』巻24)の精読
 - 2-3 曹植「野田黄雀行」(『楽府詩集』巻36)の精読
 - III. 魏晋における曹植文学の影響
曹植文学が、隣接する時代の文学に深い影響を及ぼしていることを知り、その理由を考察する。
 - 1 曹植「箜篌引」と阮籍「詠懷詩」(『文選』巻23)
 - 2 曹植「七哀詩」と晋楽所奏「怨詩行」(『宋書』巻21 樂志三)
 - IV. まとめ
中国文学史上に占める曹植文学の位置について考察する。
8. 成績評価方法：

授業に対する参加姿勢、及び最終レポートにより総合的に判断します。
9. 教科書および参考書：

胡刻本『李善注文選』。花房英樹『文選(詩騷編)』三・四(全釈漢文大系、集英社、1974年)、川合康三・富永一登・釜谷武志・和田英信・浅見洋二・緑川英樹訳注『文選(詩篇)』一～五(岩波文庫、2018～2019年)。黄節『曹子建詩註』、伊藤正文『曹植』(中国詩人選集、岩波書店、1958年)、趙幼文『曹植集校注』(人民文学出版社、1984年)、曹海東注訳・蕭麗華校閲『新訳曹子建集』(三民書局、2003年)、川合康三編訳『曹操・曹丕・曹植詩文選』(岩波文庫、2022年)。福井佳夫『六朝の遊戯文学』(汲古書院、2007年)、柳川順子『漢代五言詩歌史の研究』(創文社、2013年)など。
10. 授業時間外学習：シラバスに提示する作品について、通釈、語釈、疑問点を発表資料にまとめておいてください。『文選』所収作品については、基本的に李善注によって解釈すること。
11. 実務・実践的授業/Practical business
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習 I / Chinese Language and Literature(Integration Seminar)I

曜日・講時：前期 月曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子・土屋 育子

コード：LM11403, 科目ナンバリング：LGH-LIT615J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Studies of Chinese Language and Literature
3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午までにクラスルームを通じて提出すること。

発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams！” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Acquire specialized knowledge and theories

2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語学中国文学史総合演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Integration Seminar)II

曜日・講時：後期 月曜日 4 講時

semester：2 学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM21403, 科目ナンバリング：LGH-LIT616J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語学史中国文学史上の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Studies of Chinese Language and Literature
3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国語学の各分野について、理解を深める。
2. 中国文学の各分野について、理解を深める。
3. 研究発表の方法と論文作成の方法を、学ぶ。
4. 教員からの指摘を的確に理解し、解決方法を探索する。
5. 他人の研究発表を的確に理解した上で、自らの質問を過不足なく言語化する方法を、学ぶ。

【概要】

受講生は輪番で、自らのもっとも関心のある課題について、その先行研究の整理・問題点の析出・解決のための調査（文献の読解と分析を含む）の過程と結果を、文章化して発表する。発表レジュメは前週金曜正午まで。発表レジュメを受け取った受講生は、三日間でレジュメを吟味・検討する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：“Gather the techniques that serve your dreams, create techniques to serve your dreams！” by Chick Corea.

In this course, students will acquire specialized knowledge and theories through preparing for their presentations and paying attention to the others' presentations.

5. 学習の到達目標：上記の【目的】の1～5。および 6. 自ら納得のいく、適正な論文の作成。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Acquire specialized knowledge and theories

2. Bring each thesis to perfection

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (1)
2. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (2)
3. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (3)
4. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (4)
5. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (5)
6. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (6)
7. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (7)
8. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (8)
9. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (9)
10. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (10)
11. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (11)
12. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (12)
13. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (13)
14. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (14)
15. 中国語学史中国文学史上の諸問題の発表 (15)

8. 成績評価方法：

出席と質疑応答 (50%)。

レジュメによるプレゼンテーションと、レジュメ改訂の試みの発表 (50%)。

9. 教科書および参考書：

受講生各自の準備するプリント。

10. 授業時間外学習：発表者は、プレゼンテーションの準備。三日後の改訂稿の準備も含む。発表者以外の受講生は、三日前に提出されるレジュメの吟味と検討。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習 I / Chinese Language and Literature(Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM15206, 科目ナンバリング：LGH-LIT617J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅱ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LM25205, 科目ナンバリング：LGH-LIT618J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems. 復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅲ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LM13303, 科目ナンバリング：LGH-LIT619J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。作品読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。

前期は、宋詞の代表的な作品を選んで読むことにします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read Song-ci Poetry.

5. 学習の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。

(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。

(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。

(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答 (1)

3. 発表と質疑応答 (2)

4. 発表と質疑応答 (3)

5. 発表と質疑応答 (4)

6. 発表と質疑応答 (5)

7. 発表と質疑応答 (6)

8. 発表と質疑応答 (7)

9. 発表と質疑応答 (8)

10. 発表と質疑応答 (9)

11. 発表と質疑応答 (10)

12. 発表と質疑応答 (11)

13. 発表と質疑応答 (12)

14. 発表と質疑応答 (13)

15. 発表と質疑応答 (14)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み（レジュメ提出含む）：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語学中国文学研究演習Ⅳ／ Chinese Language and Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LM23303, 科目ナンバリング：LGH-LIT620J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。作品読解を通して中国古典文学の基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力の向上を目指します。授業は出席者による発表と質疑応答によって進めます。後期は、宋詞の代表的な作品を選んで読むことにします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read Song-ci Poetry.

5. 学習の到達目標：(1) 中国古典文の読解力を向上させる。

(2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。

(3) 辞書やデータベース等の活用と、原典(影印本・標点本等)に習熟する。

(4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical Literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical Literature.

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. ガイダンス

2. 発表と質疑応答(1)

3. 発表と質疑応答(2)

4. 発表と質疑応答(3)

5. 発表と質疑応答(4)

6. 発表と質疑応答(5)

7. 発表と質疑応答(6)

8. 発表と質疑応答(7)

9. 発表と質疑応答(8)

10. 発表と質疑応答(9)

11. 発表と質疑応答(10)

12. 発表と質疑応答(11)

13. 発表と質疑応答(12)

14. 発表と質疑応答(13)

15. 発表と質疑応答(14)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み(レジュメ提出含む)：50%

発表(資料作成を含む)：50%

9. 教科書および参考書：

テキスト・資料等は、Google Classroomより配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書類やデータベース等を活用して、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を見るだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語文化論研究演習Ⅰ／

曜日・講時：前期 木曜日 2講時

Semester：1学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM14208, 科目ナンバリング：LGH-LIT621J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主に指示性について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on referentiality in Mandarin Chinese this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply some of the basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 指示性の関連論文1 (1)

第3回 指示性の関連論文1 (2)

第4回 指示性の関連論文1 (3)

第5回 指示性の関連論文1 (4)

第6回 指示性の関連論文2 (1)

第7回 指示性の関連論文2 (2)

第8回 指示性の関連論文2 (3)

第9回 指示性の関連論文2 (4)

第10回 指示性の関連論文3 (1)

第11回 指示性の関連論文3 (2)

第12回 指示性の関連論文3 (3)

第13回 指示性の関連論文3 (4)

第14回 指示性の関連論文3 (5)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：中国語文化論研究演習Ⅱ／

曜日・講時：後期 木曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LM24209, 科目ナンバリング：LGH-LIT622J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主に指示性について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on referentiality in Mandarin Chinese this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply some of the basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>輪読形式で進める。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 指示性の関連論文4 (1)

第3回 指示性の関連論文4 (2)

第4回 指示性の関連論文4 (3)

第5回 指示性の関連論文4 (4)

第6回 指示性の関連論文5 (1)

第7回 指示性の関連論文5 (2)

第8回 指示性の関連論文5 (3)

第9回 指示性の関連論文5 (4)

第10回 指示性の関連論文6 (1)

第11回 指示性の関連論文6 (2)

第12回 指示性の関連論文6 (3)

第13回 指示性の関連論文6 (4)

第14回 指示性の関連論文6 (5)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書：

<教科書>プリントを配布する。

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：